

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月25日

事業所名 い〜まCrea大治Ⅱ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準以上のスペースを確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準より多く配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			外にスロープの設置がある。室内は、段差が少なく、支援に支障は生じていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎月職員会議を実施し、課題を共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年実施している。事業所の行事として、音楽発表会や保護者参観を行っており、その際にもアンケートをとるようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	今年度中に公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部評価は行っていないが、毎月会議を実施することで、業務改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月、社内研修を開催している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年1回アセスメントを更新し、年2回半年毎に保護者面談を実施している。その上で個別支援計画作成会議を開催し、計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月のケースカンファレンスを通じて行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動内容が固定化されないよう、日々振り返りを行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			活動時間に応じて、課題内容を検討している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			1人ひとりの子どもに対して、個別活動と集団活動でそれぞれが必要な課題を見極め、設定をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日ミーティング時間を設けている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			退勤時間の都合上、その日の内に終わらせられないときもあるが、振り返りを行ったり、引継ぎメモに残す等情報共有を心掛けている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録をつけているので、それを元に振り返りを行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			毎月のケースカンファレンスや、半年に一度のモニタリングを行うことで、計画の見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		地域交流ができていない。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どもの様子を把握しているスタッフが参加している。勤務時間の都合上難しい場合は、引継ぎをした上で他のスタッフが参加している。

関係機関 や保護者との 連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者を通じて年間行事予定や、毎月のお便りの控えをいただいている。下校時間については、利用希望表に記入していただいているので、把握ができています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	まだ対象者がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	保護者を通じて、保育所での様子等を教えていただいている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		相談員に担当者会議の開催の提案や、実際に足を運んでもらい様子を見てもらう等行うことで情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	連携をとる機会がなく、研修依頼をお願いしたことがない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	放課後児童クラブ等交流する機会を設けられていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		全てに参加することは難しいが、勤務の都合が合えば参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時にお話しすることや、日誌や電話等でも課題を共有するよう心掛けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		定期的な面談を行い、子どもの課題について助言している。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約の面談時にお話している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的に面談を行うことで相談できる機会を設けており、必要に応じ、助言を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	父母の会などが無いので、支援できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		その日の内に、できる範囲での聞き取りや対策を話し合うようにしている。謝罪や説明については責任者が行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		定期的に「Andante」を発行している。事業所の行事予定等は、毎月希望表を通じ、お伝えしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		写真や名前等掲載して良いかの同意書を毎回とるようにしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		日誌や送迎等を通じて情報伝達を行っている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	事業所行事に地域住民を招待する等できていない。	
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	職員への周知はできているが、保護者への周知ができていないものもある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	月に一度実施しているが、内容に偏りがある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎月の職員会議や、社内研修を通じ、支援方法等について話し合っている。

同等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		事業所として指針は決まっているが、対象となる児童がいないため、実施していません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者を通じて情報を得ている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			日々のミーティングで話すことや、紙面に確認サインをすることで情報共有に漏れがないようにしている。